

## 第46回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会議事録

1. 開催日時 平成31年2月12日(火)午後3時～午後5時
2. 開催場所 鳥取県庁第二庁舎9階 第21会議室
3. 出席者氏名 出席者名簿のとおり
4. 会議の概要

### (1) 第4期中期計画(案)について

- センターから第4期中期計画(案)について説明を受けた後に意見交換を行った。

### (主な意見)

- それぞれのKPIが単独に設定されているように見えるので、KPIに有機的関連(例えば、個々のKPIの関連性等)があったほうが良いと考える。
- (評価委員会でのプレゼンテーション時)センターが試行的に示した他都道府県公設試KPI目標値との比較グラフ(相関グラフ)については、各公設試とセンターの前提条件(人員、対象分野、県内企業等)が違うため妥当性を確認するための材料とはできないと考える。

⇒(センター)あくまで比較グラフは試行的に作成したものであり、ご指摘のとおりKPI値の妥当性についての判断材料ではない。

### (その他、今後のセンターの取組みに対して、以下の提言等あり)

- 企業訪問等で得た相談内容や事例のデータを蓄積し所内共有することは重要。(委員の経営する会社では)各部門から失敗事例を提出させ社内で共有している。
- 県内企業をワンランクステップアップさせるのには時間がかかり大変な作業であるが、引き続き努力(県内企業へ支援)して欲しい。

### ■【(総評)】

- KPIについて、設定根拠がそれぞれにあることを理解した。センター中期計画の内容も適正であると判断する。

### (2) 役員給与・退職手当支給基準の一部改正に関する報告について

- 事務局から、センターの役員給与・退職手当支給基準の一部改正があった旨を報告し、委員に意見を伺った。

⇒委員から特段の意見なし。

(3) 第3期中期目標の期間の終了時の検討について

- 事務局から、第3期中期目標の期間の終了時の検討について、検討結果（業務の継続及び組織の存続は必要であり、第3期中期目標終了時見込実績評価の内容を踏まえた対応を図る）の報告を行い、委員に意見を伺った。

⇒委員から特段の意見なし。

終了時の検討結果として、「業務の継続及び組織の存続は必要であり、第3期中期目標終了時見込実績評価の内容を踏まえた対応を図る」旨を決定。

■第3期中期目標の期間の終了時の検討結果

業務の継続及び組織の存続は必要であり、第3期中期目標終了時見込実績評価の内容を踏まえた対応を図る。